

## 125. プロジェクト現場で使えるリスクマネジメント

### 1. 研修要領

・ITSS	3-4
・研修実施日	2024年12月3日(火)~2024年12月4日(水)
・研修実施時間・日数	9:30 ~ 16:30 (6時間/日)/ 昼休憩 12:30 ~ 13:30 (60分)
・研修会場	福岡ソフトウェアセンター 福岡研修室
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	63,000円

### 2. 対象者

プロジェクトに関わるプロジェクトリーダー・これから関わるあらゆるメンバ  
プロジェクトマネジメントの基礎知識を有していることが望ましい

### 3. カリキュラムの概要

これから「変化への対応」を求められる時代において、プロジェクトを成功裏に完了することは、ビジネス上の大きな鍵を握っています。プロジェクトにおけるリスクへの準備を、いろいろなシーンを想定して、現場での行動を演習を重ねることで、“自分ごと”として、とことん考えます。  
よくある事例の失敗から、「実は手が打てていない薄っぺらな対策」、を排除し、現場で問題があったときに速やかに正しく手を打つことができるスキルを習得します。

### 4. 使用教材

オリジナルテキスト

### 5. 到達目標

DX(デジタルトランスフォーメーション)の時代に必要とされるリスクへの準備ができるようになる。

### 6. カリキュラムの詳細

2日間(12時間)

	科目	時間	科目の内容
1 日 目	1. DX時代のITサービス 2. DX時代のプロジェクトマネジメント	2.0h	(はじめに) ◆DX(デジタルトランスフォーメーション)時代のビジネスモデル ◆顧客視点からビジネス上の価値を考える ◆DX時代のプロジェクトマネジメント~ PMBOKの動向
	3. DX時代のリスクマネジメントの考え方	4.0h	◆プロジェクトマネジメントにおけるリスクマネジメントプロセス <実践ワークショップ: リスク分析(キックオフ前)>
2 日 目	4. リスクの発生要因	3.0h	◆リスク発生要因の分析①(ステークホルダ、組織、技術、社会情勢など) ◆リスク発生要因の分析②(プロジェクトの周辺、業種、契約)
	5. リスクと問題解決・そのレビュー	3.0h	◆リスクへの感度を高める ◆問題の分析でメンバーを心の病にしないこと! ◆全体の振り返り~学んだ教訓を次に活かす分析 <実践ワークショップ: そのときどうする(キックオフ後)>
計		12.0Hr	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。